



平成18年12月 1日

各 位

会 社 名 昭和ゴム株式会社
代表者名 取締役社長 山口 紀夫
(コード番号 5103 東証第二部)
問合せ先 取締役総務部長 佐藤 一石
(TEL . 04 - 7131 - 0181)

設備投資計画の進捗状況及び精練部門のゴムコンパウンド製品の 大量受注についてのお知らせ

当社は、平成18年2月14日に発表しました「第三者割当増資による調達資金の使途」及び平成18年6月20日に発表しました中期経営計画に基づき生産性の向上とコスト削減を目標に設備改善プロジェクトを発足させ、生産設備及び工場レイアウトの見直しを進めておりますが、主力製品の最新鋭機械導入等についての進捗状況をお知らせします。また、精練部門においてゴムコンパウンド製品の大量受注がありましたので合わせてお知らせいたします。

設備投資計画の進捗について

1. ソフトテニスボール製造装置

品質及び生産効率の向上による生産量の拡大とコストの削減を目標に導入いたします。

設備名	発注日	完成予定日
ボール成型機・付帯設備一式	平成18年10月	平成19年3月

2. 食品医療用品設備

(1) 乳首製造装置

品質及び生産効率の向上を目標に製造装置の改修を実施いたします。

設備名	発注日	完成予定日
乳首成型機(1号機)一式	平成18年11月	平成19年3月

1号機完成後順次改修を行います。

(2) 特殊精密型物製造装置

品質の向上と生産量の拡大を目標に新規製造装置を導入いたします。

設備名	発注日	完成予定日
特殊型物製品自動成型機一式	平成18年10月	平成19年2月

精練部門の大量受注について

精練部門におきまして、ゴムコンパウンド製品の大量受注が決定しましたので、自家消費分の生産と合わせて当部門は繁忙な状況にあり、今後もこのような状況が続くものと予想されます。なお、当該製品の年間売上高(工業用品事業)は約1億円を見込んでおり、11月24日に発表いたしました平成19年3月期中間決算短信における業績予想には織り込み済みであります。

以 上